

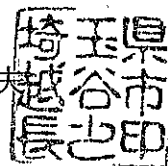
越 道 街 第 1 5 7 号

平成20年10月21日

国土交通省道路局長 様

埼玉県越谷市

市長 板川 文夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった件につきましては
別添のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

埼玉県越谷市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路は、市民生活の利便性、安全・安心、そして地域の活性化にとって不可欠な社会資本の基盤であることから、本年5月13日に閣議決定された「道路特定財源等に関する基本方針」6項目について着実に実行していただきたい。

特に、選択と集中を基本に、真に必要とされる道路において、着実な整備促進、早期完成を願うとともに、地球温暖化対策の一つである、ITSの推進、物流の効率化や公共交通機関の積極的な利用促進等、今まで以上の取り組みを願いたい。

また、交通安全対策として、レッドゾーン、イエローゾーンの解消をはじめ、通学路における安全・安心な歩行空間の創出を期限を決め整備願いたい。

さらに、維持修繕事業として、道路、橋梁の安全性を確保するとともに、長寿命化の対策、また、清掃、除草等の日常管理を充実し良好な道路環境を維持するための財源確保に努めていただきたい。

次に、地域の直轄国道である東埼玉道路の側道部においては、今年度、春日部市水角までの約8.7km区間の延伸が事業化され早期完成を望むとともに、本年10月2日に国内最大級の大型ショッピングセンター「イオンレイクタウン」がオープンしたことによる渋滞が発生し、側道部の4車線化を望む声が地元住民から上がっている。このような状況の中で、側道部の4車線化の検討、都市計画決定されている「地域高規格道路」の早期事業化および首都圏中央連絡自動車道までの延伸を要望する。

なお、当該道路沿線の一部地域においては、平成12年1月の運輸政策審議会答申18号に位置付けられた高速鉄道東京8号線の計画があり、一体的な整備による相乗効果が期待されているため、道路の整備計画において、考慮していただきたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

埼玉県越谷市

越谷市では、昭和33年の市施行から今日まで一貫して人口は増加しており、特に昭和37年の東武鉄道伊勢崎線と地下鉄日比谷線の相互乗り入れ後に急激に増加した。それに伴い都市化の進展により、本市の道路網の骨格を担う国道4号および周辺の幹線道路では、随所で慢性的な交通渋滞が発生している。これらを解決するには、都市間を結ぶ幹線道路の早期整備が必要不可欠であると同時に、広域連携拠点としての本市の位置づけから核都市広域幹線道路の誘致を図る必要がある。また、土地利用計画や地域の活性化として、新市街地形成を進めるレイクタウン整備事業地内に、本年9月にオープンした大型ショッピングセンター(イオンレイクタウン)の開店に伴い、東埼玉道路や越谷吉川線など幹線道路が渋滞することから生活道路へ車が混入し周辺地域に影響が現れるなど新たな課題も発生している。

幹線道路の現状として、市内の都市計画道路は、81路線、延長にして約112kmが都市計画決定しており、平成19年度末の完成率は約58%で、特にさいたま市方面へ向かう東西道路の整備促進が求められている。また、東武伊勢崎線線増連続立体交差事業により、草加市境から北越谷まで約6.6kmの区間において道路網の計画がなされたものの、北越谷以北の道路網が脆弱な状況であることから、地域づくりを視野に入れた道路網の計画が必要である。

また、市内には主要な橋梁が42橋あり、災害時の緊急輸送路として位置づけがなされている橋梁もあることから、耐震化や長寿命化の対策が急務となっている。

②-2地域の目指すべき将来像

埼玉県越谷市

国・県道をはじめとする幹線道路と、生活道路、橋梁を体系的に整備することにより、安全・安心かつ円滑な道路網を形成するとともに、災害時への対応などを含めて、適正な維持管理を行うことを基本方針とする。

まず、道路の整備として、安全かつ利便性の高い道路網の整備を図るため、広域的な幹線道路、市民と密着した生活道路、障がい者や高齢者に配慮した歩行系道路など、地域特性や道路の利用形態に合わせた計画的な道路整備の推進を図る。

◎幹線道路の整備

一般国道4号および主要地方道等の幹線道路の交通渋滞を緩和するため、東埼玉道路や県施行道路の早期完成を関係機関に積極的な働きかけを行う。また、地域高規格道路の候補路線である核都市広域幹線道路の誘致に努める。さらに、都市の骨格を形成する都市計画道路については、周辺の土地利用計画などとの整合性を図りながら選択と集中を基本に整備を行う。

◎生活道路の整備

市民の日常生活に密着した生活道路の安全性と利便性の向上を図るため、「越谷市まちの整備に関する条例」に基づき、6m道路を基本に、地域特性と利用状況を考慮した整備を進めるとともに、広幅員の道路については、歩車道の分離や自歩道の設置を図り、歩行者の安全性を配慮した道路整備を行う。

◎歩行系道路の整備

安全で快適な歩道空間を拡充し、人に優しい都市環境を創造するため、歩車道の分離を推進するとともに、再開発などの整備や民有地を活用した壁面後退を促進する。また、障がい者や高齢者に配慮した歩道整備を行うとともに、既設歩道の段差解消など誰もが安全・安心して利用出来るような整備を行う。

次に、道路の維持管理として、安全で円滑な交通を確保するために、道路パトロールの強化や速やかな修繕作業を実施し、適正な維持補修を図る。また、効率的な管理業務を行うため、道路管理システムを活用し道路管理の充実を図る。

次に、橋梁の整備として、道路交通の利便性向上や河川改修事業に対応するため、既存橋梁の架け替えや新設橋の整備を進めるとともに、長寿命化修繕計画を策定する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

埼玉県越谷市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の快適性、利便性の向上	・東埼玉道路側道部の延伸	・国道4号の渋滞による経済損失は、年間約288万時間、約103億円。また、渋滞ポイントは7箇所存在することから、延伸することによる経済損失や渋滞の軽減が期待できる。	